



“家族会”

「あおぞらの
大きな家族として…」

あおぞら家族会を3日間の日程で開催しました。
江ヶ崎・海上アルファー工房、希望塾の合同家族会は4年ぶりの開催でした。
日中活動の様子や各行事のビデオ紹介等、自己紹介を交えながら情報交換もしていただきました。
また、「親なきあとアンケート」では、多くの方が、将来はグループホームへの入所を考えている、という回答結果でした。



家族会 林会長

日程

5/26(金)

あおぞら三崎

6/8(木)

児童発達支援
センターわかば

6/14(水)

江ヶ崎・海上・
希望塾合同

あおぞら家族会々長 林 幸子

あおぞらの家族会は3ヶ所で開かれました。
あおぞら三崎・児童発達支援センターわかば・江ヶ崎・海上アルファー工房と希望塾は一緒の会でした。

利用者の年齢の差は就学前から、成人し親元を離れた人、親亡き後の人とはばの広いものです。
その時期に起こる悩みや不安は様々ですが、あおぞらの大きな家族として子供たちがより幸せに過ごせるよう考えながら見守っていきたく思います。
これからもよろしく願いいたします。



江ヶ崎・海上・希望塾合同家族会の様子

～ 9/16(土)法人研修 ～ 「人権と尊厳を支える支援」



成田国際福祉専門学校
非常勤講師

相澤 雅則

相澤 雅則氏

9月16日(土)、海上公民館にてあおぞらの全職員を対象とした研修会を行いました。

「人権と尊厳を支える支援」と題して、虐待防止、身体拘束の禁止を含めた内容で相澤雅則先生にご講演いただき、最後には「あおぞら虐待ゼロ作戦」について62名の参加職員一人ひとりの考えを発表し合いました。職員同士の良好な関係、働きやすい明るい風通しの良い職場環境づくりが大切であり、それが虐待ゼロや支援向上に繋がっていくことを皆で再確認しました。

地域生活支援室々長・相談支援センター結所長
高木 美枝子

第4回障がい者の地域生活セミナー

7/16(日)「てんでんしのぎからの脱却」 ～銚子市における地域づくりの現状と課題～



講師
五十嵐 伸光氏

「てんでんしのぎ」とは、…

江戸時代、銚子の川口は潮の流れが急で地元では「銚子川口てんでんしのぎ」と言われ、この辺りを船で通る時は他の船のことを構わず、自分の操船だけを心懸けよと戒められてきました。そのことから、自分のことだけを考えて地域社会を考えてきた時勢から、横のつながりや主体性をもった取り組み方の重要性について学ぶことができました。

あおぞら三崎施設長 増田 直希

【講師紹介】

相澤 雅則氏:
社会福祉士
介護福祉士
成田国際福祉専門学校 非常勤講師
”
千葉県科学大学他 非常勤講師



※当日は、中学生から大学生まで5名のボランティアにお手伝いいただきました。



希望塾

“お楽しみ会”
銚子の海をバックに
記念撮影



希望塾

“お楽しみ会” ボーリング大会しました!
「精神を統一して……」

5月 遠足

7月 夏祭り

8月 お楽しみ会



江ヶ崎

銚子電鉄に乗って、
皆でニコリ



“遠足”
「おせんべい、
焼けたかな?」



あおぞら三崎

“遠足”神栖「プライム・リップ」
おいしく、ランチで～す。



“夏祭り”
「ドラえもんのかき氷
は最高」



江ヶ崎

“遠足”ひこうきの丘
「ひこうき、いいなあ。」



海上

“遠足(外食会)”
お母さんと一緒に参加で
きました。うれしい!



海上

“夏祭り”
「楽しい～♪」



手作りのおみこし
で…
「ワッショイ!
ワッショイ!」

新型コロナウイルスがインフルエンザと同じ5種になりました。それに合わせ利用者さんの活動の範囲が広がり、食学会やイベント等を楽しんでもらおうとみんなで知恵を出し合い工夫しています。

海上アルファ工房施設長 劉浩



新任職員紹介



江ヶ崎アルファ工房
鈴木 啓太郎(運転手)

利用者さんの安全に
気をつけながら、やっ
ていきたいと思いま
す。
どうぞよろしく願い
いたします。



江ヶ崎アルファ工房
齋藤 弥生(支援員)

毎日が楽しく、充実
しています。
利用者さんとたくさん
関わりながら、がんば
っていききたいと思いま
す。
よろしく願いいたしま
す。



あおぞらハウス
永原 久子(世話人)

皆さんにご指導いた
だきながら、自身の経験
も活かせるよう努めて
参ります。
よろしく願いいたしま
す。



あおぞらハウス
浪川 きみ子(世話人)

利用者の方たちは個
性があり、世話人・支
援員の方々もいい方
ばかりです。
まだわからないことも
ありますが、ご助言・ご
指導をお願い致しま
す。